

授業の概要

全部床義歯技工学 I の講義で学んだ基礎的知識に基づき、蠟義歯製作までの実習を行うことで、全部床義歯の蠟義歯製作を理解し、製作方法を修得する。

- 教科書：最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 全部床義歯技工学(医歯薬出版)
- 授業時間：木曜日 18:50～21:15
- オフィスアワー：木内 浩子 (kiuchi.hiroko@nihon-u.ac.jp) 木曜日 16:00～17:00
- 成績評価：実習製作物(100%)で評価する。評価後にフィードバックする。
- 注意事項：教科書、配付されたプリントおよび実習に必要な用具を持参する。
- 授業方法：模型を用いた技工作業を実習形式で行う。
- 準備学習：実習内容に関連する項目を事前に教科書で確認しておくこと。
- 準備学習時間：必要な時間(1時間程度)を充てて予習を行うこと。
- 実務経験：木内浩子：歯科技工所で基礎を学び、歯科診療所で主任歯科技工士を務めた後に独立。それらの臨床経験を基に歯科技工士の立場から、本実習での人工歯排列がいかに実際の臨床で活かされるかを講義していく。

授業日・担当者	実習項目	学修到達目標
第1回10月3日 木内 浩子 中西 竜三郎 岡本 和人 早坂 秀 本田 洋臣	講義 1. 全部床義歯の特性 1) 全部床義歯の構成要素 2) 全部床義歯の種類 3) 全部床義歯の製作順序 (教)pp. 19-30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全部床義歯の構成要素である義歯床と人工歯を説明できる。 ・ 床用材料による分類を説明できる。 ・ 使用目的による分類を説明できる。 ・ 全部床義歯の製作順序と実習で製作する。 ・ 全部床義歯の製作順序を説明できる。
第2回10月17日 木内 浩子 他	講義 2. 精密印象と作業用模型 1) 作業用模型製作 2) 咬合器点検 (教)pp. 38-40 実習 2. 精密印象と作業用模型 1) 作業用模型製作 2) 咬合器点検	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精密印象と作業用模型を説明できる。 ・ 解剖学的ランドマークを列挙できる。 ・ 無歯顎シリコーン印象型に石膏120gを注入し、上下顎作業用模型を製作する。 ・ 咬合器の点検を行い、不具合を確認する。
第3回10月24日 木内 浩子 他	講義 3. 咬合床製作のための作業用模型の処理 1) 床外形線の記入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 咬合床製作のための作業用模型の処理を説明できる。 ・ 作業用模型上に、義歯製作の基準(床辺縁部、正中線、歯槽頂線、レトロモラーパツ

授業日・担当者	実習項目	学修到達目標
	2) 基準線の記入 (教) pp. 41-42 実習 3. 咬合床製作のための 作業用模型の処理 1) 床外形線の記入 2) 基準線の記入	下前縁)となる線(設計線)を記入し、作業 用模型の処理を修得する。
第4回10月31日 木内 浩子 他	講義 4. 咬合床 1) 咬合床圧接 2) 標準線の記入 (教) pp. 44-47 実習 4. 咬合床 1) 咬合床の圧接 2) 標準線の記入	<ul style="list-style-type: none"> • 全部義歯製作で咬合採得に用いられる基 礎床と咬合堤から構成される咬合床を説 明できる。 • 標準値で標示線(標準線)を咬合堤の唇側 面に記入し、咬合採得後、前歯部の人工歯 選択や排列の基準となる事を説明できる。 • 既製の咬合床を作業用模型に圧接し、圧接 の方法を修得する。 • 咬合床上に標準線の記入を行い、記入の方 法を修得する。
第5回11月7日 木内 浩子 他	講義 5. 作業用模型の咬合器 装着 1) 咬合器の調整 2) スプリットキャスト 3) 作業用模型の装着 (教) pp. 49-52 実習 5. 作業用模型の咬合器 装着 1) 咬合器の調整 2) スプリットキャスト	<ul style="list-style-type: none"> • 咬合器の各調節機構を理解し、咬合器の 取り扱いを説明できる。 • 半調節性咬合器の矢状顎路傾斜角および 側方顎路傾斜角を設定し、顎路角の調整 方法説明できる。 • スプリットキャスト法を学び、作業用模型 の基底面にスプリットキャストを設定で きる。 • 咬合床を咬合器の基準に合わせ、装着す る方法を理解する。
第6回11月14日 木内 浩子 他	実習 5. 作業用模型の咬合器 装着 3) 作業用模型の装着	<ul style="list-style-type: none"> • 咬合床が圧接された作業用模型を咬合平 面板を用いて咬合器の基準に合わせ、装着 する方法を修得する。
第7回11月21日 木内 浩子 他	講義 6. 人工歯排列 1) 人工歯の特徴 2) 上顎法の排列 3) 上顎前歯部排列 (教) pp. 56-64	<ul style="list-style-type: none"> • 人工歯の材質および形態を学び、人工歯の 特徴を説明できる。 • 全部床義歯の維持安定および審美性を考 慮した排列法を説明できる。 • 上顎法で排列する方法を説明できる。 • 上顎前歯部は、下顎咬合床を基準に審美性 を考慮した排列法を説明できる。

授業日・担当者	実習項目	学修到達目標
第8回11月28日 木内 浩子 他	実習 6. 人工歯排列 3) 上顎前歯部排列	<ul style="list-style-type: none"> 前歯部切縁は下顎咬合堤外縁を基準に排列し、前歯部排列法を修得する。 上顎前歯部排列において、作業効率を考慮した器具の使用方法を修得する。
第9回 12月5日 木内 浩子 他	実習 6. 人工歯排列 3) 上顎前歯部排列	<ul style="list-style-type: none"> 前歯部切縁は下顎咬合堤外縁を基準に排列し、前歯部排列法を修得する。 上顎前歯部排列において、作業効率を考慮した器具の使用方法を修得する。
第10回12月12日 木内 浩子 他	講義 6. 人工歯排列 4) 上顎臼歯部排列 (教) pp. 65-76 実習 6. 人工歯排列 4) 上顎臼歯部排列	<ul style="list-style-type: none"> 上顎法の臼歯部排列は、歯槽頂間線の法則を考慮し、調節彎曲を付与した排列法を説明できる。
第11回12月19日 木内 浩子 他	実習 6. 人工歯排列 4) 上顎臼歯部排列	<ul style="list-style-type: none"> 上顎法の臼歯部排列は歯槽頂間線の法則を考慮し、調節彎曲を付与した排列法を修得する。 上顎臼歯部排列において作業効率を考慮した器具の使用方法を学び、修得する。
第12回1月9日 木内 浩子 他	講義 6. 人工歯排列 5) 下顎前歯部排列 6) 下顎臼歯部排列 (教) pp. 65-76 実習 6. 人工歯排列 5) 下顎前歯部排列	<ul style="list-style-type: none"> 下顎前歯部排列は、発音機能および両側性平衡咬合を考慮し、垂直被蓋と水平被蓋を付与した排列法を説明できる。
第13回1月16日 木内 浩子 他	講義 6. 人工歯排列 6) 下顎臼歯部排列 (教) pp. 65-76 実習 6. 人工歯排列 5) 下顎前歯部排列 6) 下顎臼歯部排列	<ul style="list-style-type: none"> 下顎臼歯部排列は、上下顎が1歯対2歯に咬合する排列法を説明できる。 下顎臼歯部排列は中心咬合位において左右下顎第一大臼歯、第二小臼歯、第一小臼歯第二大臼歯の順に1歯対2歯の排列を行い、下顎臼歯部排列法を修得する。
第14回1月23日 木内 浩子 他	実習 7. 排列修正	<ul style="list-style-type: none"> 上下顎排列終了後、中心咬合位、偏心位における平衡咬合や審美性等の機能に配慮した排列状態であるか確認し、排列修正を行い、排列修正を修得する。

授業日・担当者	実習項目	学修到達目標
第15回1月30日 木内 浩子 他	実習 7. 排列修正	<ul style="list-style-type: none"> • 上下顎排列終了後, 中心咬合位, 偏心位における平衡咬合や審美性等の機能に配慮した排列状態であるか確認し, 排列修正を行い, 排列修正を修得する。
第16回2月6日	実習 8. 上下顎人工歯排列 完成 1) 評価 2) 製作物提出	<ul style="list-style-type: none"> • 上下顎人工歯排列の細部を確認し, 完成する。 • 上下顎人工歯排列までの蠟義歯を提出する。